



いわむら えみ
岩村 恵美
(つなぐ)

保健福祉
教 育 民



若者の市販薬の過剰摂取、SNS 時代の薬物乱用対策として

問 ドラッグストアで買える市販薬でも依存症になる可能性があることを市はどのように周知し教育対象としているか。

教育長 小中学校では、授業で薬物乱用が心身にどのような害を及ぼすかについて学習している。さらに、全小中学校で学校薬剤師と警察署員と連携し、薬学講座を実施している。

問 オーバードーズ※⁴に関する相談件数と実態把握は。

部長 相談件数 1 件、実態把握は難しい状況。

問 オーバードーズによる救急搬送の件数は。

部長 令和7年度 27 件、令和8年度は、2 か月の統計で 13 件。



意見 若者を取り巻く状況、その選

択が将来どのような影響をあたえるのか。行政と関係機関との情報共有、国に対しても水際対策の仕組みを働きかけていかなければならない。

健康長寿日本一をめざして

問 当市の後期高齢者医療費は、令和4年度 164 億円、令和5年度 174 億円。令和4年度から令和5年度で 10 億円増えた要因は。

部長 被保険者数が増えていることと、一人当たりの医療費が令和4年度と6年度を比べて 10 万円以上、上がっている。

問 一般介護予防事業にかなり力をいれているが、継続するためにもう一歩後押し、65 歳以上フィットネス利用補助制度のようなことを行ってはどうか。

市長 新たな運動をする場所に対する補助金制度を考えていく必要がある。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

環 境



ペロブスカイト太陽電池※⁵について

問 次世代型太陽電池と第6次総合計画等に記載されているが、何を示すものか伺う。

部長 主流のシリコン系太陽電池に代わる新しい材料・構造の高機能・多機能な太陽電池の総称。代表的なものがペロブスカイト太陽電池。

問 ペロブスカイト太陽電池（以下、次世代型）の導入の現状と課題について伺う。

部長 国を挙げて社会実装に向けた取組が進められ、公共施設・民間施設における実証事業が各地にて実施され始めている。課題は、耐久性や長期的運用実績がないこと、量産化の途上であり、初期コストが高いことが挙げられる。市としては、実証状況や技術開発の動向、安全性・経済性を踏まえ、導入に向けた研究を行う。

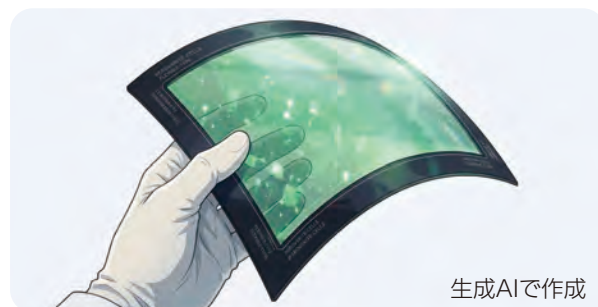
問 従来の太陽電池と次世代型の相違点につ

いて伺う。

部長 従来型は発電効率や耐久性に優れているが重量があり設置場所に一定の制約がある。対して次世代型は、軽量かつ柔軟性を有し、耐荷重の小さい屋根や曲面に設置可能となる。原材料であるヨウ素が国内で調達可能であることも特徴である。一方で耐久性・コスト面で改善の余地があり、情報を注視する必要がある。

問 導入と今後の展開について伺う。

部長 経産省を中心とした次世代型太陽電池の官民協議会に参加予定であり、情報収集予定である。広く市内公共施設の中で、実証できる可能性のある施設を見定める考えである。



生成AIで作成